

## 緩和的放射線治療とは

痛みをはじめとする身体症状の改善や  
QOL (生活の質) の向上を目的として行われる

放射線治療のことを、

「緩和的放射線治療」といいます。

今ある症状だけでなく、

今後起こりうる症状についての対応も含まれます。

放射線治療に対して

ネガティブな印象を持たれている方もいることが  
アンケート調査から明らかになっています(注)。

実際には、放射線治療は他の手術や

化学療法と比べて「全身への影響が少ない」

「臓器の形態・機能を温存する」

「通常の保険診療で行える」などの

メリットがあります。

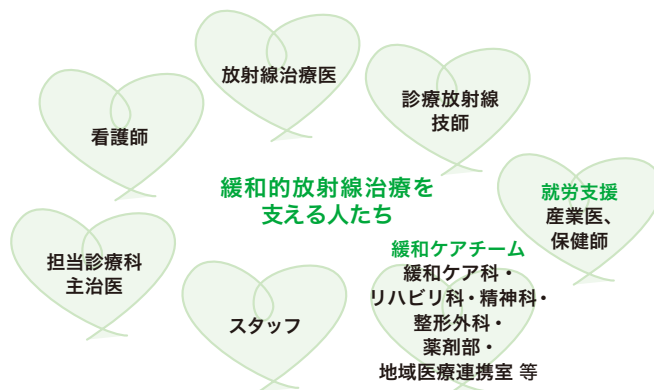
注：厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業 がん治療における緩和的放射線治療の評価と普及啓発のための研究 一般市民を対象とした意識調査2021年

## 放射線治療医にご相談ください

放射線治療専門医は、あなたのライフスタイルに最適ながん治療を選択する手助けができます。お住まいの地域の放射線治療医を探すには、日本放射線腫瘍学会ホームページをご覧ください。

<https://www.jastro.or.jp/customer/>

また、放射線治療科への受診をご希望の場合は主治医へご相談ください。



### リーフレットを手にとり取っていただいた方へ

このリーフレットは、厚生労働省のがん対策推進総合研究事業の一環としてつくられたものです。

緩和的放射線治療について、患者様とご家族様への情報提供のあり方を今後より良くしていくためにリーフレットについてのご意見をおきかせください。

アンケート調査について、ご回答のほどよろしく申し上げます。

アンケートは、右のQRコードから入れます。  
おひとり様あたり、1回答をお願いいたします。



厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業  
がん治療における緩和的放射線治療の評価と普及啓発のための研究



日本放射線腫瘍学会  
〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14 TOKIビル5階  
Tel: 03-3527-9971 Fax: 03-3527-9973  
Mail: jastro-office@jastro.jp

# 放射線治療による 緩和ケア

Quality of Life (QOL)

## 生活の質の 向上のために

放射線治療による  
緩和ケアについての  
アンケートに  
ご協力ください。






## 治療と仕事・生活の両立

照射時間は1回あたり15～30分程度です。

治療回数は患者さんの状態に合わせて  
1回から数回(多い場合には20回以上)であり、  
放射線治療は、一般的に治療中の仕事との  
両立に適しています。

就労・介護などとの両立について  
ご相談ください。



## 緩和的放射線治療が 役に立つ 代表的なケース



### 背骨への転移により起こる麻痺を改善する

脊椎(背骨)へ転移した腫瘍により脊髄(神経)が圧迫され、痛み・麻痺を引き起こし、生活の質を著しく低下させます。一般に、放射線治療により痛み・麻痺の症状が改善します。

完全麻痺後は効果が一気に低下します。

照射前に歩行可能→80%歩行可能


照射前不全麻痺→40%歩行可能

照射前完全麻痺→7%歩行可能



### 骨への転移による痛みを和らげる

約60～90%の症例で痛みの緩和が期待できません。鎮痛薬の増量無しに痛みが完全に消失するのは、約20～40%程度と報告されています。除痛効果は数日程度で認められることもありますが、4～8週で効果が最大になると考えられています。放射線治療終了時に疼痛緩和が得られていない場合でもその後に痛みが和らぐことが期待できます。



このため、以下のような症状がある場合はすぐに受診するようにしてください。

- ・首から上背部の痛み
- ・ひどくなる腰の激痛
- ・腕や脚のしびれ、だるさ、脱力感
- ・胸や腹部に帯状に広がる痛み
- ・感覚の変化、例えばピンや針、電気ショックのような感覚
- ・便や尿をなかなか出すことができない
- ・便や尿を失禁してしまう

これらの症状があるからといって必ずしも背骨への転移により起こる痛み・麻痺であるとは限らないことも覚えておいてください。